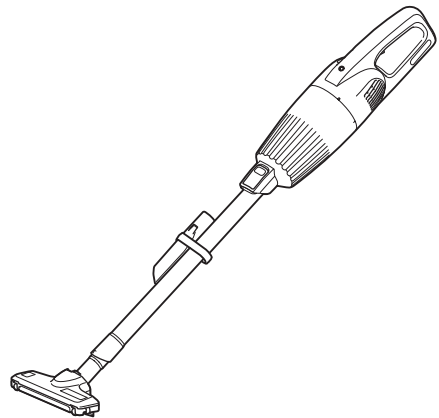




取扱説明書

充電式クリーナ

モデル **CL116D**
(充電器 DC1001 付)



このたびは**充電式クリーナ**をお買い上げ
賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本製品の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をして
いただいて、いつまでも安
全に能率よくお使いくださ
るようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 安全上のご注意	4
・ 各部の名称および標準付属品	13
・ 別販売品のご紹介	14
・ 充電のしかた	16
・ 使い方	18
・ スイッチの操作	18
・ バッテリー切れお知らせランプ	19
・ ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方	20
・ フロア・カーペットノズルの取り付け方・取りはずし方	21
・ クリーナと付属品の使い方	22
・ フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ	22
・ サッシノズル	24
・ サッシノズル＋ストレートパイプ	24
・ ゴミの捨て方	25
・ 別販売品の使い方（高機能フィルタ）	30
・ 高機能フィルタ	30
・ 保管について	34
・ 本製品の立て掛け方	34
・ お手入れについて	35
・ お手入れは	35
・ フロア・カーペットノズルのお手入れ	35
・ フィルタ類のお手入れ	36
・ スポンジフィルタのお手入れ	37
・ スポンジフィルタの取りはずし方	37
・ スポンジフィルタの取り付け方	38
・ 保護機能	40
・ 本製品およびバッテリーの保護機能	40
・ 故障かな？と思ったら	41
・ 修理をお申し付けになる前に	41
・ バッテリーの交換方法	43
・ バッテリーを長持ちさせるには	47
・ 本製品を廃棄処分するときは	47
・ リチウムイオンバッテリーのリサイクルについて	47
・ 充電式クリーナ 保証書	52

主要機能

主要機能	モデル	CL116D
電動機		直流マグネットモータ
バッテリー		リチウムイオンバッテリー
電圧		直流 10.8 V
連続使用時間		約 15 分 ^{*1}
集じん容量		560 mL
本製品寸法		長さ 422 mm × 幅 102 mm × 高さ 111 mm (ストレートパイプおよびフロア・ カーペットノズル取り付け時の長さ 928 mm)
質量		0.93 kg (本製品のみ)

充電器	DC1001
入力電圧	単相交流 100 V
入力周波数	50-60 Hz
入力容量	8.5 W
出力電圧	13.7 V
出力電流	0.505 A
充電時間	約 4 時間 ^{*1}
耐用充電回数	約 500 回 ^{*1}

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

^{*1}：使用状況によって変動します。

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。
- ・ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例



このような絵表示は、
してはいけない「禁止」
内容です。



このような絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

※イラストは参考例です。製品によりデザインが異なりますのでご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

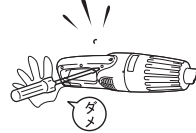
：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

- 水洗いしない。また、風呂場など湿った場所やぬれた場所で使用しない。
 - 感電する場合があります。



- 絶対に分解したり修理・改造しない。
 - 発火したり、異常動作してけがをすることがあります。



- 子供に本製品や充電器で遊ばせない。
 - 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。



- クリーナの誤始動を防ぐために、次の作業の際は必ずスイッチを切り、スイッチに指がかからないように注意する。



- ゴミ捨て
- フィルタ類の清掃（お手入れ）
- 保管
- その他危険が予想される作業

- 使用済みのバッテリーを交換する際は、スイッチが入らないように注意する。



- スイッチに指をかけるなど、スイッチが入る状態でバッテリーを装着すると、急に動きだし事故につながります。

- 本製品の吸込口や排気口に手、髪または身に着けたものを入れない。
 - けがの原因になります。



⚠ 警告

- ・ 屋外で使わない。



- ・ 誤って落としたり、ぶつけたときは、本製品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検する。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。



- ・ 以下のものは吸わせない。火災やけがやモータの故障の原因となる。



引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピン、針、クリップなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

多量の粉末（小麦粉、灰、消火器の粉など）

人体に有害な物質（アスベストなど）、中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

多量の砂や土砂

⚠ 警告

- ・ 使用中、本製品の調子が悪かったり、異臭や発熱、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止する。



- ・ そのまま使用していると、けがや事故の原因になります。点検・修理をお申し付けください。

- ・ マキタが指定した付属品や別販売品以外を使用しない。



- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や別販売品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあります。

- ・ 作業場の周囲状況も考慮する。



- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。

- ・ 無理な姿勢で作業をしない。



- ・ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。

- ・ 火気や暖房器具などに近づけない。



- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 引火性のもの（ガソリン、ペンジン、シンナー、ガスなど）の近くで充電したり、使用しない。



- ・ 爆発や火災の原因になります。

⚠ 警告

・ 損傷した部品がないか点検する。



- ・ 使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- ・ 破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、修理をお申し付けください。
- ・ スイッチで始動、および停止操作のできない充電製品は、使用しないでください。

・ 充電式クリーナは、注意深く手入れをする。



- ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
- ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。

・ 温度が 50℃ を超える可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しない。



- ・ 本製品の変形による、短絡（ショート）、発火の原因になります。
- ・ 内蔵のバッテリーが劣化する原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

・ 使用しない場合は、乾燥した、子供の手の届かない安全な所、または鍵がかかる所に保管する。



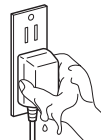
- ・ 事故の恐れがあります。

・ 雨中や湿った場所で充電したり、ぬれた手で電源コンセントや電源プラグ、給電プラグを抜き差ししない。

・ 充電器の電源プラグや給電プラグに金属片・水などの異物を近づけない。



- ・ 感電やけがをすることがあります。



⚠ 警告

- 交流 100 V で充電する。



- 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機で充電しないでください。火災の原因になります。

- 充電中、異常発熱などの異常に気がついたときは、直ちに充電器の電源プラグと給電プラグを抜いて充電を中止する。



- そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

- 本製品専用の充電器以外は使用しない。



- バッテリーの液もれ、発熱、破裂の原因になります。

- 充電器は充電以外の用途に使用しない。また、バッテリーや充電器を本製品以外に使用しない。



- 充電器が電源コンセントに挿し込まれたまま、充電器の給電プラグを本製品から取りはずして放置しない。



- 通電したままの充電器の給電プラグを子供などが口にくわえたりすると感電の原因となります。

- 充電器のコードを乱暴に扱わない。



- コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
- コードが踏まれたり、引っ掛けられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 警告

- ・ 充電器のコードが傷んだり、電源プラグの挿し込みがゆるいときは使用しない。



- ・ 感電、短絡（ショート）、発火の原因になります。

- ・ 充電しないときは、充電器を電源コンセントから抜く。



- ・ 絶縁劣化による感電、漏電、火災の原因になります。

- ・ 本製品から取りはずしたバッテリーは発熱、発火、破裂の恐れがあるので、次のようなことをしない。



- ・ 端子に金属類を接触させないでください。
- ・ 釘や硬貨などが入った袋や箱の中に入れないでください。
- ・ 雨や水にぬらさないでください。
- ・ 分解、改造はしないでください。
- ・ 火中に投入しないでください。

- ・ 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液もれすることがあるため、もれ出た液体に不用意に触れない。



- ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。バッテリーの液は炎症ややけど、失明の原因になることがあります。

- ・ マキタ指定以外のバッテリー、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しない。また、バッテリーをマキタが指定した製品以外で使用しない。



- ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。

- ・ バッテリーや充電器を充電中に布などで覆わない。



- ・ 換気の良い場所で充電してください。発熱や破裂、発火の原因になります。

⚠ 警告

- ・ 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しない。

- ・ 発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しない。

- ・ 継続して使用すると、発熱や破裂、発火の原因になります。



- ・ 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てない。

- ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。



- ・ 十分な防じん対策をしてください。



- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。

- ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。



- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用了本製品の保守・点検・修理は受付できません。



⚠ 注意

- ・ 付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付ける。

- ・ 確実でないと、はずれたりして、けがの原因になります。



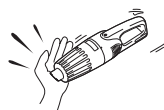
- ・ フィルタまたはダストバッグ類・紙パックを正しく取り付ける。

- ・ フィルタまたはダストバッグ類・紙パックを確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタまたはダストバッグ類・紙パックを取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



- ・ 吸引口をふさいで長時間運転しない。

- ・ 過熱による本製品の変形、発火の原因になります。



- ・ 排気口をふさがない。

- ・ 火災の原因になります。



- ・ 高所で使用するときは、本製品を落下しないように注意する。また、持ち運ぶときはノズルやストレートパイプを持たないで必ず本製品のハンドルを持って運ぶ。

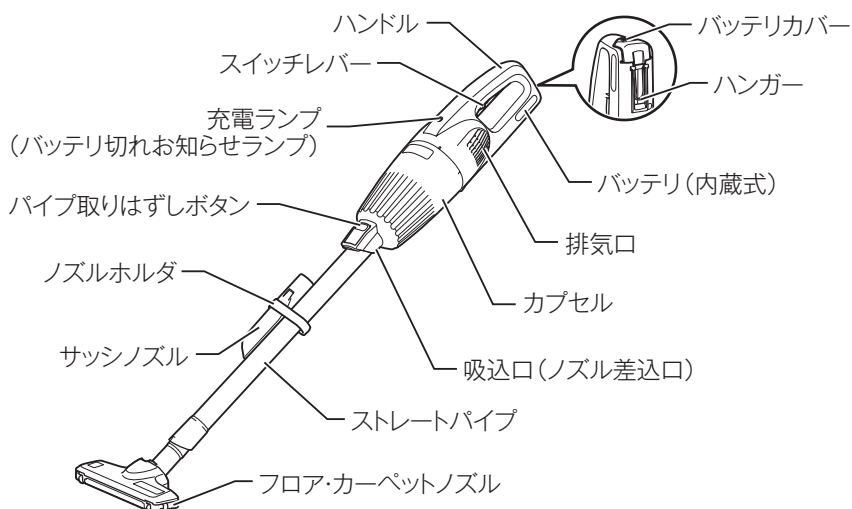
- ・ 本製品などを落としたときなど、事故やけがの原因になります。

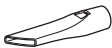


- ・ バッテリーは交換時以外では触らない。



各部の名称および標準付属品



標準付属品	モデル	CL116DWI	CL116DWR
充電器 DC1001 		部品番号：JPADC1001	
フロア・カーペットノズル※ 1 		部品番号： A-59922 (アイボリー)	部品番号： A-59938 (レッド)
サッシ (すき間用) ノズル 		部品番号： 413769-1 (アイボリー)	部品番号： 413860-5 (レッド)
ノズルホルダ 		部品番号： 459036-0 (アイボリー)	部品番号： 413966-9 (レッド)
ストレートパイプ (ロック付) 		部品番号： 458940-0 (アイボリー)	部品番号： 413964-3 (レッド)
プレフィルタ※ 2 		部品番号：A-79136	
フィルタ※ 3 		部品番号：A-43963 (1 枚入り)	

※ 1 毛足 7 mm 以下のカーペットに対応しています。

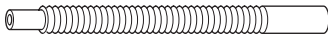
※ 2 購入時は本製品に取り付けてあります。

※ 3 洗浄して繰り返し使えます。購入時は本製品に取り付けてあります。

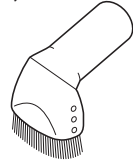
別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。

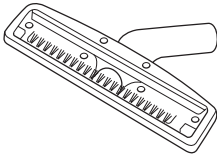
- ・ フレキシブルホース
(自由に曲がるため、車などの狭い場所の掃除に便利です。)
部品番号：
A-37568 (アイボリー)
A-52526 (レッド)



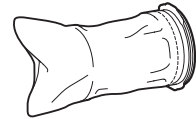
- ・ ラウンドブラシ
部品番号：
A-37471 (アイボリー)
A-52532 (レッド)



- ・ じゅうたん用ノズル
部品番号：
A-37546 (アイボリー)
A-52504 (レッド)

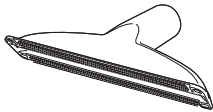


- ・ 高機能フィルタ EX ※
(細かな粉じんを捕集)
部品番号：
A-68971

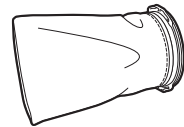


※洗浄して繰り返し使えます。

- ・ シートノズル
部品番号：
A-67044 (アイボリー)
A-67050 (レッド)

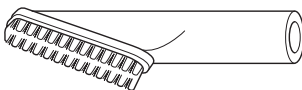


- ・ 高機能フィルタ※
部品番号：
A-58207



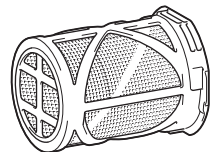
※細かな粉じんを捕集
※洗浄して繰り返し使えます。

- ・ 棚ブラシ
部品番号：
A-37552 (アイボリー)
A-52510 (レッド)

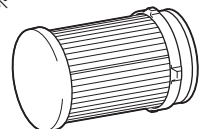


- ・ プレフィルタ※
部品番号：
A-79136

※ 標準付属品



- ・ 高性能フィルタ※
部品番号：
A-79120



※ 洗浄して繰り返し使えます。

別販売品のご紹介

- ・ フィルタ（1 枚入）※

部品番号：

A-43963

- ・ フィルタ（10 枚入）

部品番号：

A-50728

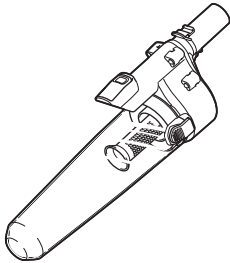
※標準付属品



- ・ ロック付サイクロンアタッチメント※

部品番号：

A-68856（スノーホワイト）

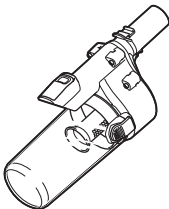


※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。

- ・ ロック付ショートサイクロンアタッチメント※

部品番号：

A-72453（スノーホワイト）



※ストレートパイプ 340（ロック付）と合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。

- ・ ストレートパイプ 340（ロック付）※

部品番号：

459481-9（スノーホワイト）

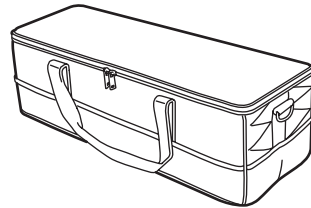


※ロック付サイクロンアタッチメント、ロック付ショートサイクロンアタッチメントと合わせて使用するとストレートパイプ（ロック付）と同じ長さになります。

- ・ クリーナ用ソフトバッグ

部品番号：

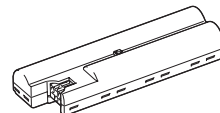
A-67153



- ・ リチウムイオンバッテリー（容量 2.0 Ah / セル数 3 本）

部品番号：

191U64-2



充電のしかた

シンボルマークについて

- ・ 充電器および取扱説明書にシンボルマークを表記しております。このシンボルマークの意味をご理解の上ご使用ください。



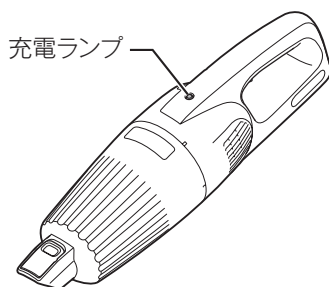
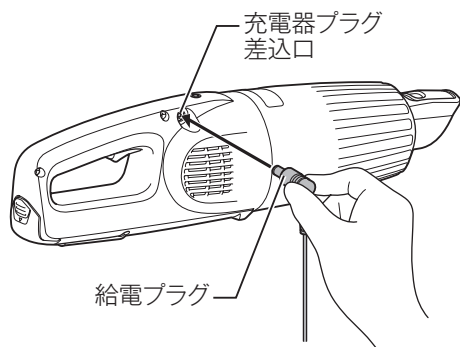
このマークを表示した製品は二重絶縁構造ですのでアース（接地）する必要はありません。



充電器は屋内で使用してください。

初めてご使用になる前に、必ず充電を行ってください。

- ①充電器プラグ差込口に充電器の給電プラグを接続した後、充電器の電源プラグを家庭用コンセントに挿し込めば、充電がはじまります。
充電中は本製品スイッチ前側にある、充電ランプが赤く点灯します。
- ②充電が完了すると充電ランプが消えます。バッテリー切れお知らせランプが点滅した状態から、充電完了するまでの時間は約 4 時間です。
 - ・ 初めてお使いになる前に充電されるときは、より短時間で完了します。



充電のしかた

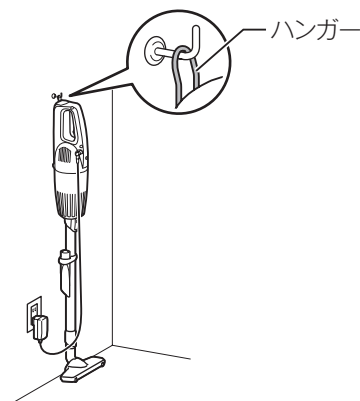
⚠ 注意

本製品を立て掛けた状態で充電する場合は、ハンガーを市販のフックなどに掛けてから充電してください。

ハンガーを掛けるのが難しい場合は、本製品をねかせた状態で充電してください。

- ・ 市販のフックなどを使用せず立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

充電中は充電器本体の温度上昇がありますが、異常ではありません。



◎バッテリーには寿命があります。

バッテリー切れの状態から充電しても短時間で充電ランプが消えてしまう場合や、充電しても使用時間が購入時の半分以下になった場合は、バッテリーの寿命（不良、故障）と考えられます。

- ・ 充電器の電源プラグを電源コンセントから抜き、バッテリーを交換してください（43 ページの「バッテリーの交換方法」参照）。

◎バッテリーの耐用充電回数は約 500 回です。

使用状況によって、この耐用充電回数は変動します。

注

- ・ 充電完了後は、電源コンセントから充電器の電源プラグをはずし、本製品から充電器の給電プラグをはずしてください。
- ・ 給電プラグを本製品につないだまま使用しないでください。故障の原因になります。
- ・ バッテリーの温度が 0℃未満の場合、充電を開始しないことがあります。

使い方

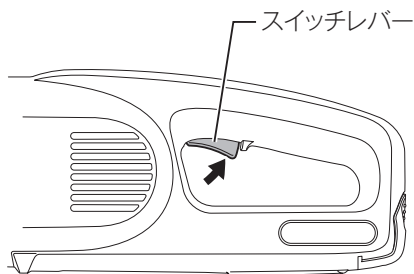
スイッチの操作

⚠ 警告

スイッチレバーを引き、放したときスイッチレバーが戻ることを必ず確認してください。

- ・ スwitchレバーが正しく作動しないと、事故の恐れがあります。

- ・ スwitchは、スswitchレバーを引くと入り、放すと切れます。



⚠ 注意

- ・ フィルタ類を正しく取り付ける。



- ・ フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

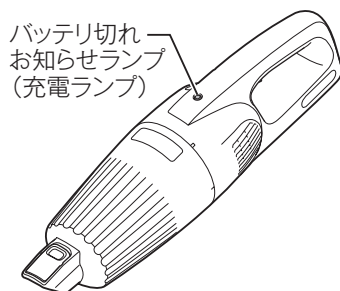
注

- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく取り付けられていることを確かめてからご使用ください。

使い方

バッテリー切れお知らせランプ

- ・ 使用中にバッテリーの容量が少なくなるとバッテリー切れお知らせランプが赤色に点滅します。
- ・ さらにバッテリーの容量が少なくなるとモーターが自動停止し、バッテリー切れお知らせランプが約 10 秒点灯します。このときは充電器のプラグを充電器プラグ差込口に接続して充電してください（16 ページの「充電のしかた」を参照）。



注

- ・ バッテリー切れお知らせランプの点灯、点滅のタイミングは、周囲の温度やバッテリーの状態によって変化します。

使い方

ストレートパイプ（ロック付）の取り付け方・取りはずし方

⚠ 注意

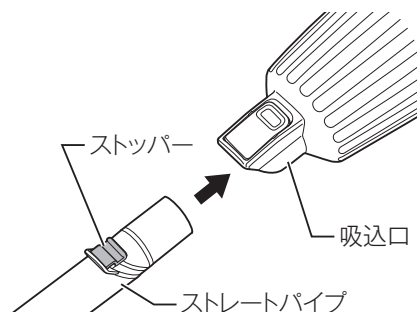
パイプ部を持って本製品を持ち運ばないでください。パイプが抜けて本製品が落ちる恐れがあります。

・ けがや故障の原因になります。

パイプを取りはずすときは、ゆっくりパイプを抜き取ってください。壁などに手をぶつけ、けがをする恐れがあります。

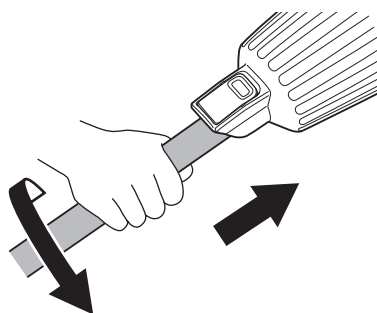
取り付け方

1. ストレートパイプのストッパーが付いている側を上にして、吸込口の溝に合わせます。
2. パイプをしっかり挿し込みます。カチッと音が鳴り、ストッパーがロックされます。
3. パイプを軽く引っ張り、はずれないか確認します。



注

- ・ パイプを挿し込む際、上下の向きが合っていない場合は、ストッパーがロックされず、パイプがはずれる恐れがあります。
- ・ 別販売品のストレートパイプ（ロックなし）を使用する場合
 - ・ 矢印方向にしっかりとねじ込んで取り付けてください。
 - ・ 矢印方向と反対へ回して取り付けや取りはずしをしますと、カプセルがゆるんではずれることがあります。



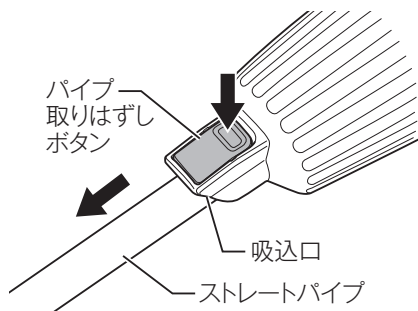
使い方

取りはずし方

- ・ 吸込口の「パイプ取りはずしボタン」を押し込みながら、パイプを抜き取ってください。

注

- ・ ロック機構なしのストレートパイプの場合は、取り付けと同じ方向にねじりながら抜き取ってください。
- ・ 矢印方向と反対へ回して取り付けや取りはずしをしますと、カプセルがゆるんではずれることがあります。



フロア・カーペットノズルの取り付け方・取りはずし方

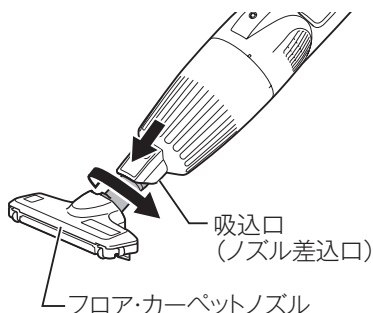
取り付け方

- ・ フロア・カーペットノズルを取り付ける際は、フロア・カーペットノズルのパイプをストレートパイプや本製品の吸込口に、使用中に抜けないようにしっかりとねじ込んで取り付けます。



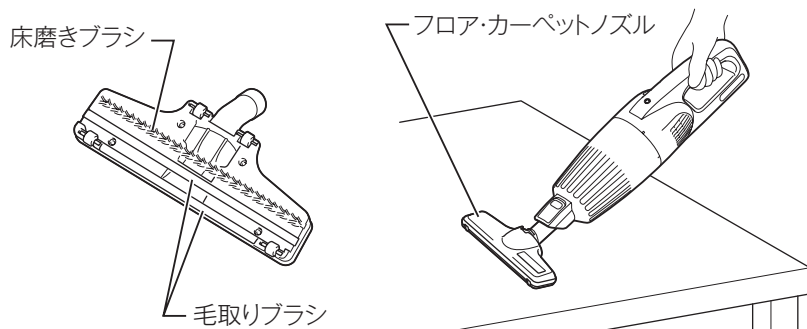
取りはずし方

- ・ 取り付けと同じ要領で、ストレートパイプや本製品の吸込口からフロア・カーペットノズルのパイプをねじりながら抜き取ります。



使い方

クリーナと付属品の使い方 フロア・カーペットノズル



- ・ テーブル・家具・棚などの上を掃除されるときは、ノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。

※毛足 7 mm 以下のカーペットに対応しています。

※ノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。

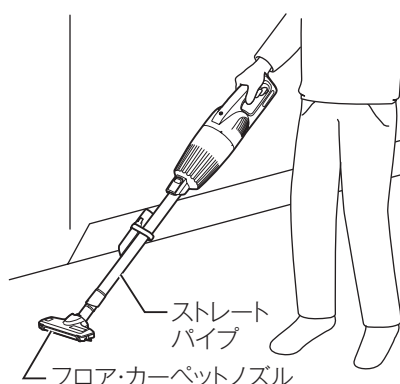
毛取りブラシ：ノズルを前後させる動きによって、カーペット上のゴミをからめ取ります。

床磨きブラシ：フローリングなどの床を磨く効果があります。

フロア・カーペットノズル＋ストレートパイプ

- ・ たたみ、カーペット、床など低い所を掃除されるときは、本製品とフロア・カーペットノズルの間にストレートパイプを挿し込めば、立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。

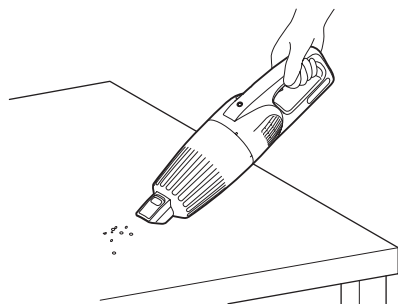
※フロア・カーペットノズルを床面に押し付けすぎず、軽く滑らせるように使用してください。



使い方

ちょっとしたお掃除に

- ・ こぼした粉などは本製品で直接吸い込めます。



ちょっとしたお掃除にストレートパイプを使う

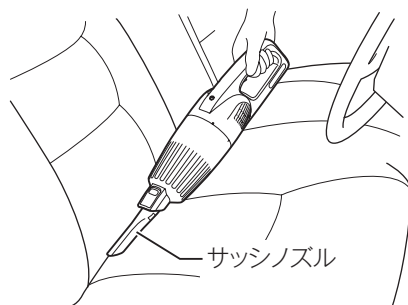
- ・ 床にこぼした粉などを掃除するときは、ストレートパイプを使用すると立ったままの姿勢で楽に掃除ができます。



使い方

サッシノズル

- ・ 自動車の中や家具のすき間、およびサッシの溝などを掃除されるときは、サッシノズルを本製品に直接挿し込んで、ご使用ください。



サッシノズル + ストレートパイプ

- ・ 家具の奥など本製品が当たって入らないときや高い所のすき間などを掃除されるときは、サッシノズルと本製品の間にストレートパイプを挿し込んで、ご使用ください。



ゴミの捨て方

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れないでください。

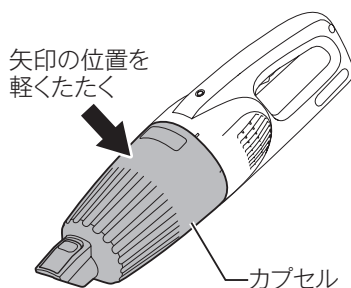
- ・ けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

フィルタや別販売品の高機能フィルタは洗浄して繰り返し使用できます(36 ページの「フィルタ類のお手入れ」参照)。

- ・ フィルタ類が傷んできたときや、破れたときは新しいフィルタ類と交換してください。

1. フィルタに付着したゴミを落とすために、カプセルを手で4～5回軽くたたきます。



2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。

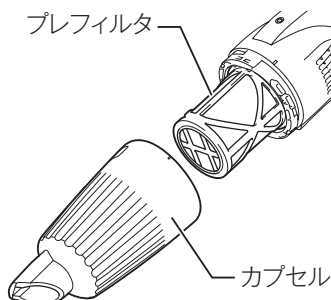


注

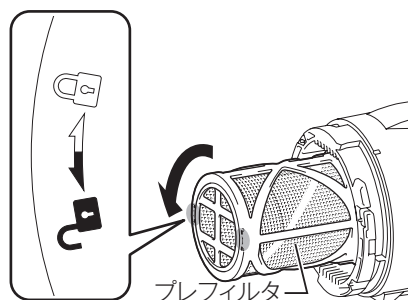
- ・ カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。

ゴミの捨て方

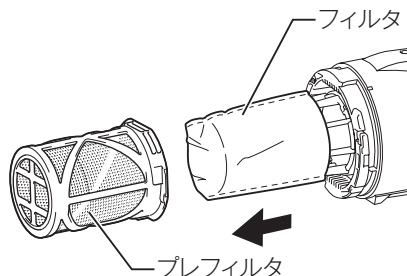
3. カプセル内のゴミを捨てます。



4. プレフィルタを矢印方向に止まるまで回して引き抜きます。



5. プレフィルタ中の細かいゴミを捨て、次に軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。



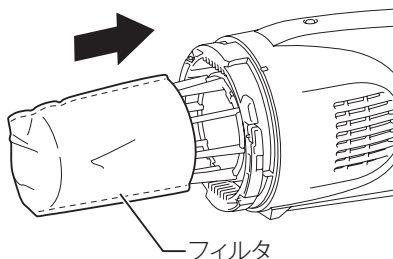
⚠ 注意

- フィルタ類を正しく取り付け。
- フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。



ゴミの捨て方

6. ゴミを落とした後、フィルタを本製品の奥までしっかりかぶせます。

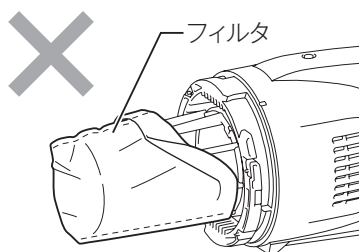


注

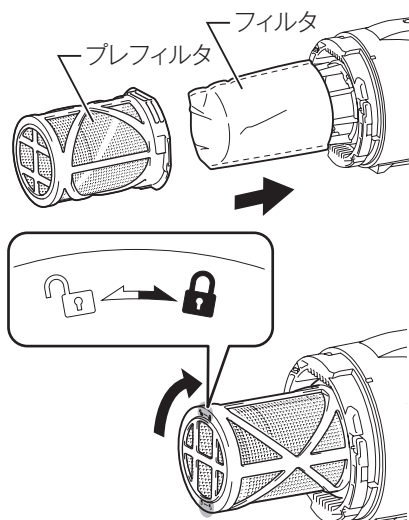
- ・ フィルタ類は完全に乾燥させてからご使用ください。
 - ・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。

注

- ・ フィルタは図のようにめくれないようにかぶせてください。正しくかぶせていないとモータ部にゴミが入り、故障の原因になります。

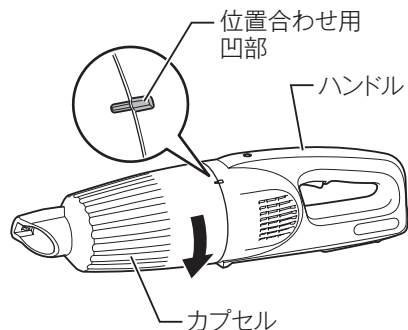


7. プレフィルタを図の向きでフィルタの上からかぶせ、奥まで挿し込みます。矢印方向に止まるまでしっかり回します。



ゴミの捨て方

8. カプセルを取り付けます。
カプセルの凹部とハンドル側の位置
合わせ用凹部を合わせてから止まる
までしっかり回します。

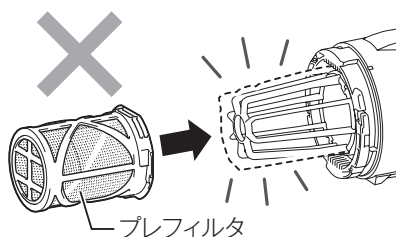


注

- ・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ・ ご使用前に必ずフィルタ、プレフィルタが正しく取り付けられていることを確かめてからご使用ください。
 - ・ 次の例に該当する場合はフィルタ、プレフィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。

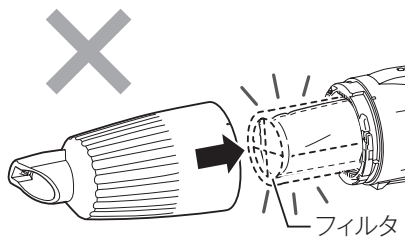
[悪い例]

- ・ フィルタを入れずにプレフィルタのみが入っている場合

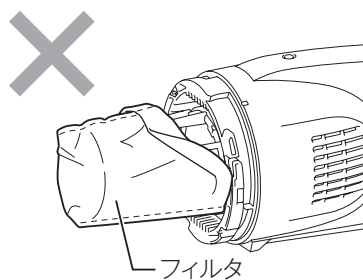


ゴミの捨て方

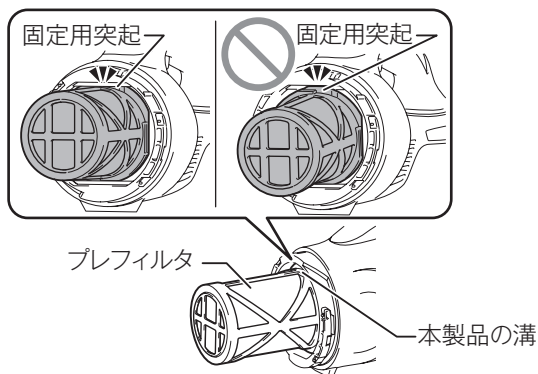
- ・ プレフィルタを入れずにフィルタのみが入っている場合



- ・ フィルタがめくれた状態で入っている場合



- ・ プレフィルタの固定用突起が本製品の溝にしっかりはまっていない場合



別販売品の使い方（高機能フィルタ）

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

⚠ 注意

フィルタや別販売品の高機能フィルタは洗浄して繰り返し使用できます（36 ページの「フィルタ類のお手入れ」参照）。

- ・ フィルタ類が傷んできたときや、破れたときは新しいフィルタ類と交換してください。

フィルタ類を正しく取り付ける。



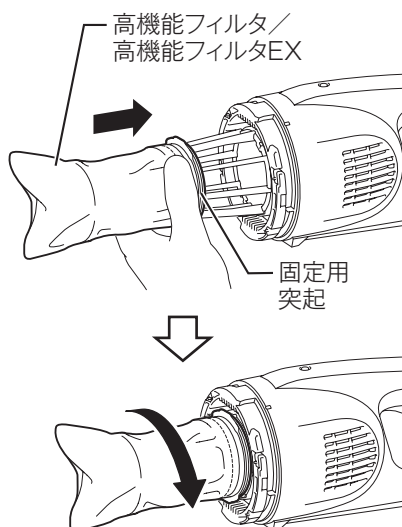
- ・ フィルタ類を確実に取り付けないまま使用したり、穴のあいたフィルタ類を取り付けての使用などは、モータ部にゴミが入り、故障および発火の原因になります。

高機能フィルタ

- ・ 高機能フィルタは標準付属のフィルタに比べ、細かな粉じんを捕集することができます。

組み立て方

1. 高機能フィルタを取り付けます。このとき、高機能フィルタを回して固定用突起を本製品にしっかりとはめます。



別販売品の使い方（高機能フィルタ）

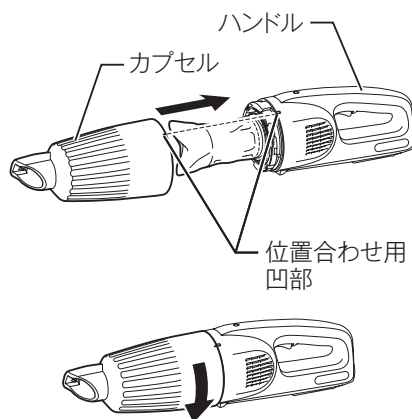
注

- ・ フィルタ類は完全に乾燥させてからご使用ください。
 - ・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。

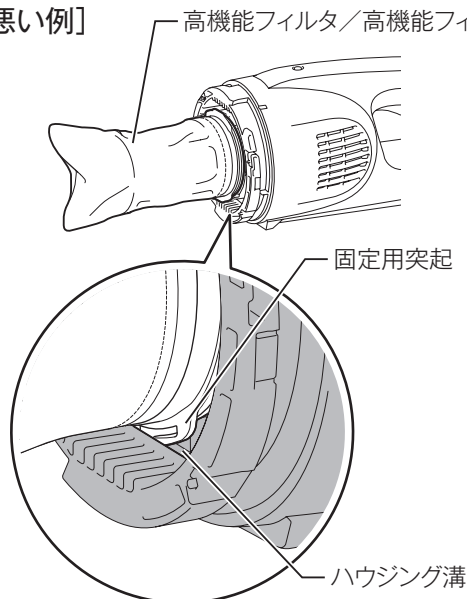
2. カプセルを取り付けます。カプセルの凹部とハンドル側の位置合わせ用凹部を合わせてから奥までしっかり回します。

注

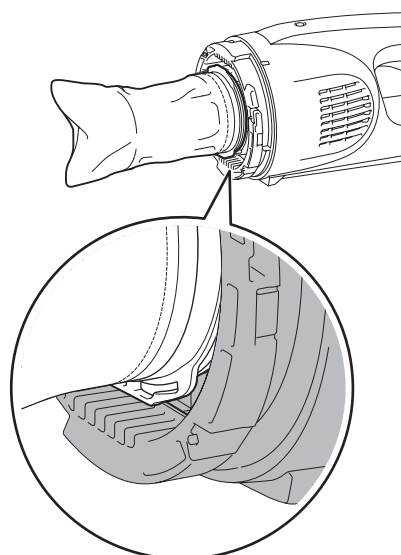
- ・ ゴミをためすぎますと吸込力が低下しますので、早目にゴミを捨ててください。
- ・ ご使用前に必ず高機能フィルタが正しく入っていることを確かめてからご使用ください。
 - ・ 次の例に該当する場合は、高機能フィルタが正しく入っていません。再度正しく組み立てなおしてください。



[悪い例] 高機能フィルタ／高機能フィルタEX



※突起のはまり方が不完全。

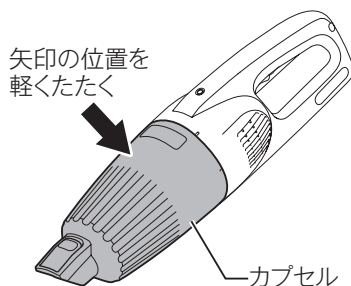


※突起が溝からはずれている。

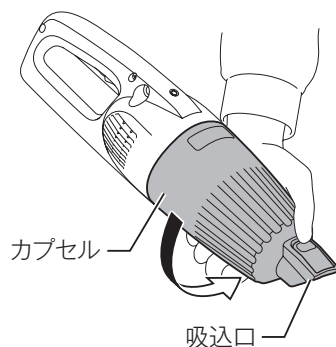
別販売品の使い方（高性能フィルタ）

ゴミの捨て方

1. カプセルを手で軽く4～5回たたき、フィルタに付着したゴミを落とします。



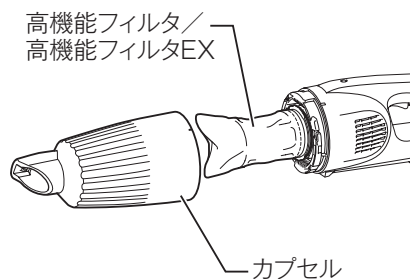
2. 吸込口を下に向けてカプセルを回し、ゆっくりまっすぐカプセルを取りはずします。



注

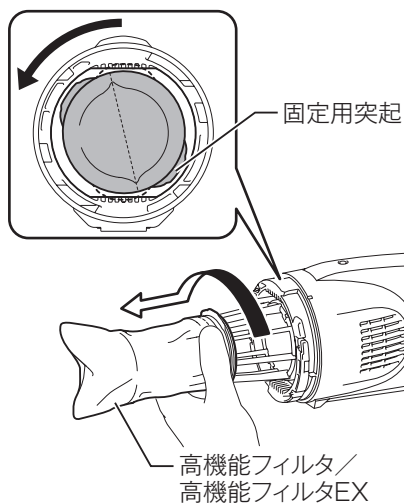
- ・ カプセルを開ける際にゴミがこぼれる場合がありますので、ゴミ箱を下に置いて行ってください。

3. カプセル内のゴミを捨てます。



別販売品の使い方（高性能フィルタ）

4. 高性能フィルタを回して、本製品から固定用突起をはずしてから手前に引き抜きます。

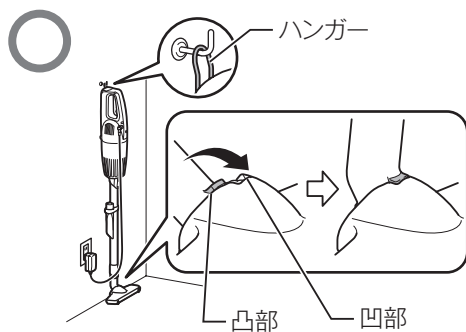


5. 高性能フィルタの中の細かいゴミを捨て、次に軽くたたくようにしてフィルタに付着したゴミを落とします。

保管について

本製品の立て掛け方

- ・ 充電するときや保管するときは、ノズルの凹凸をはめ合わせ、本製品裏側のハンガーを起こし、市販のフックなどに掛けてください。



注

- ・ 市販のフックなどを使用せずに立て掛けると、転倒して故障やけがの恐れがあります。

お手入れについて

⚠ 警告

ゴミ捨てやフィルタ類を清掃、交換する際は、本製品のスイッチを入れないように注意してください。

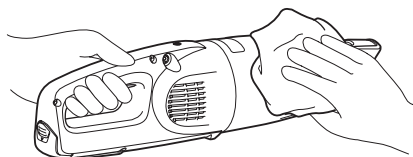
- ・ 不意にスイッチが入るとスポンジフィルタの奥にあるファンが回りだし、けがや故障の原因になります。

指や棒などをスポンジフィルタより奥に入れないでください。

- ・ けがや故障の原因になります。

お手入れは

- ・ 本製品の汚れは、薄めた中性洗剤を布に少量しみ込ませてふきとってください。
- ・ 吸込口に付いたゴミもふきとってください。

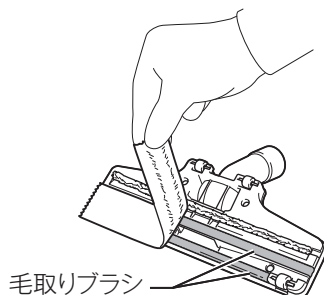


注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。
- ・ エアダスタなどでの掃除は避けてください。
 - ・ 排気口より粉じんなどが本製品内部に入り込み、故障の原因となります。

フロア・カーペットノズルのお手入れ

- ・ フロア・カーペットノズルの毛取りブラシにゴミがたまり、ゴミ取れ性が低下したときは、図のようにガムテープなどで毛取りブラシに付いたゴミを取り除いてください。

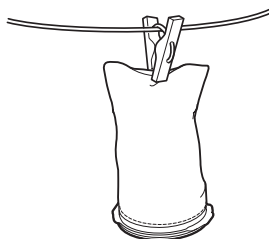


お手入れについて

フィルタ類のお手入れ

- ・ フィルタや別販売品の高機能フィルタは洗浄して再使用できますので定期的（1～2ヶ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。
- ・ 汚れが気になる場合は、薄めた中性洗剤でもみ洗いしてください。
- ・ 洗浄後は陰干しして完全に乾燥させてからご使用ください。

例：



注

- ・ 乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。
- ・ フィルタ類は消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。フィルタ類が傷んできたときや、破れたときは新しいフィルタ類と交換してください。
- ・ ブラシ・ヘラなど硬いものでフィルタ類をこすってキズをつけないようにしてください。
- ・ フィルタ類はキズつきやすいので、エアブロウや高圧洗浄機で掃除をしないでください。

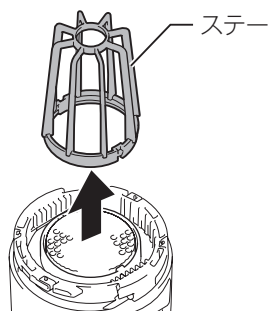
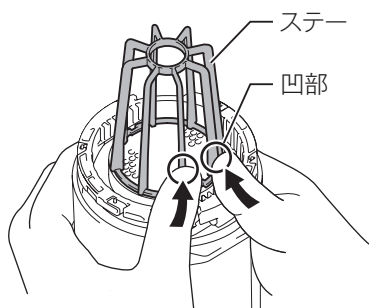
お手入れについて

スポンジフィルタのお手入れ

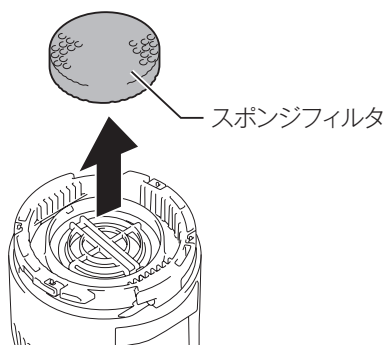
- ・ スポンジフィルタの汚れは、本製品からスポンジフィルタを抜き取り、はたくか水洗いしてください。

スポンジフィルタの取りはずし方

1. 本製品からフィルタを取りはずします（25 ページの「ゴミの捨て方」参照）。
2. スターの凹部を押し込み、本体からスターを取りはずします。



3. スポンジフィルタを取りはずします。

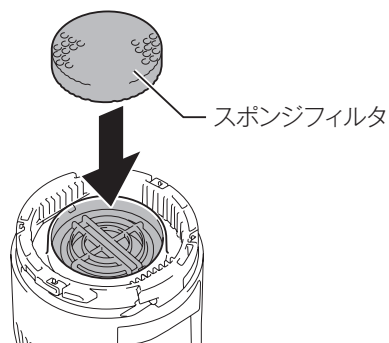


4. スポンジフィルタのお手入れを行います。

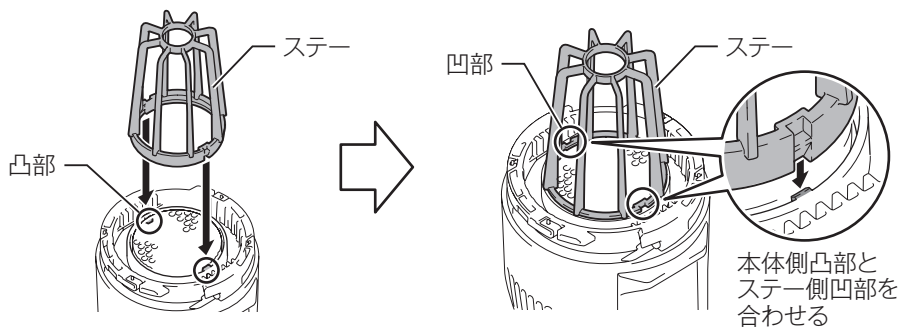
お手入れについて

スポンジフィルタの取り付け方

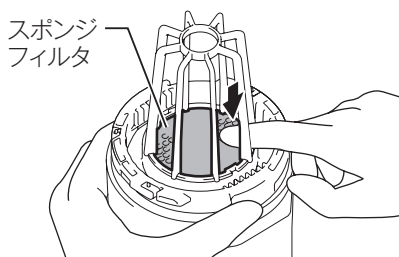
1. スポンジフィルタを取り付けます。



2. 本体の凸部にステーの凹部を合わせるようにしてステーを取り付けます。



3. スターの奥に収まるようにスポンジフィルタの全周を指で押し込みます。



4. 本製品にフィルタを取り付けます（25 ページの「ゴミの捨て方」参照）。

お手入れについて

注

- スポンジフィルタのお手入れをした後は、必ず本製品にスポンジフィルタを装着した後、フィルタを確実に取り付けてください。
 - ・ スポンジフィルタおよびフィルタを取り付けずに使用すると故障の原因になります。
- スポンジフィルタを水洗いした際は、よく乾燥させてからご使用ください。乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因になります。
- エアブロウなどで掃除しますと、粉じんなどが内部に入り込んでしまい故障の原因となりますので、エアブロウでの掃除は避けてください。

保護機能

本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。モータが自動停止する際に、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒間点灯した後、消灯します（19 ページの「バッテリー切れお知らせランプ」参照）。 ・ バッテリーを充電してください（16 ページの「充電のしかた」参照）。
・ 本製品またはバッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。モータが自動停止する際、「バッテリー切れお知らせランプ」が約 10 秒間点灯した後、消灯します（19 ページの「バッテリー切れお知らせランプ」参照）。 ・ 時間をおいて本製品およびバッテリーを冷ましてください。

故障かな？と思ったら

修理をお申し付けになる前に

次の解消方法をお試しの上、症状が解消できるか点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

- ・ 保護機能※が働き、本製品が機能停止している可能性があります。
- ・ バッテリーまたは充電器が故障している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電してください。

↓ バッテリーが充電できない

充電器の電源プラグが電源コンセントにつながっているか確認してください。

↓ バッテリーが充電できない

バッテリーの接続端子がしっかり接続されているか確認してください。

↓ バッテリーが充電できない

充電器のコードに傷がないか確認してください。傷があれば新しい充電器に交換してください。

↓ 解消しない

本製品およびバッテリーを十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

修理をお申し付けください。

※保護機能については 40 ページ参照。

故障かな？と思ったら

症状	調べる所	直し方
吸込力が弱い。	・ カプセル内のゴミがいっぱいになっていませんか。 ・ フィルタが目詰まりしていませんか。 ・ バッテリーが消耗していませんか。	・ ゴミを捨ててください。 ・ フィルタをはたくか、洗浄してください。 (36 ページの「フィルタ類のお手入れ」参照) ・ 充電してください。
動かない。	・ バッテリーが消耗していませんか。	・ 充電してください。
充電できない。	・ 本製品の充電ランプが点灯しない。 ・ 充電器のコードが傷ついていませんか。 ・ 本製品の充電ランプが点滅し続ける。	・ 充電器のプラグを本製品にしっかり挿し込んでください。 ・ 充電器を電源コンセントにしっかり挿し込んでください。 ・ 新しい充電器に取り替えてください。 ・ バッテリーが熱くないか、または冷えすぎていないか、バッテリーのコネクタがきちんと接続されているか確認してください。 それでも直らない場合は修理をお申し付けください。

注

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理をお申し付けされる場合は、クリーナ本製品のほかに充電器も一緒にお持ちください。
- ・ 保証期間中は、保証書の規定に従って修理させていただきますので、恐れ入りますが製品に保証書を添えてご持参ください。
- ・ 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店、または当社営業所にご相談ください。
- ・ お使いの充電式クリーナは、バッテリーを内蔵しております。充電式クリーナを廃棄処分するときは、必ず内蔵のバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの交換方法

⚠ 注意

充電器の電源プラグをコンセントからはずし、本製品から給電プラグを取りはずしてください。

本製品の電源を切った状態で作業してください。

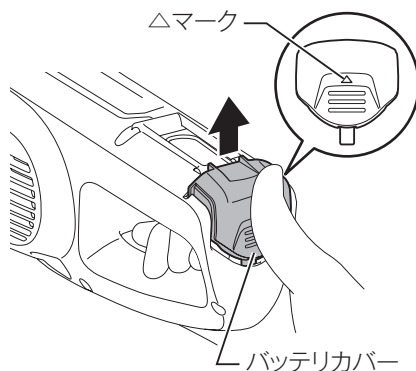
バッテリーを取り付ける際は、本製品とバッテリーの間に指をはさまないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

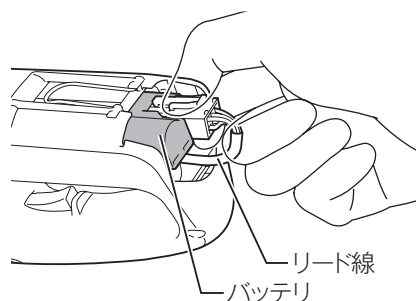
バッテリーを交換するときは、落としてけがをしないように注意してください。

バッテリーの取りはずし方

1. 本製品後部のバッテリーカバーを△マークの方向にはずします。

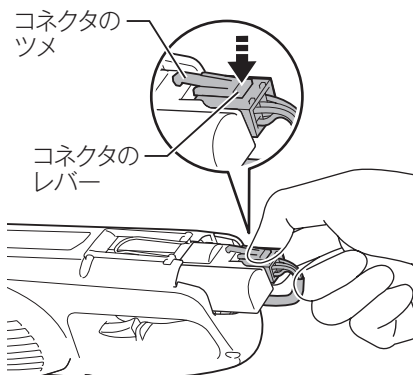


2. バッテリーを途中まで引き出します。

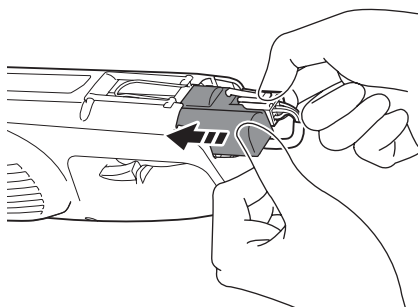


バッテリーの交換方法

3. コネクタのレバーを押さえて、コネクタのツメを浮かせます。



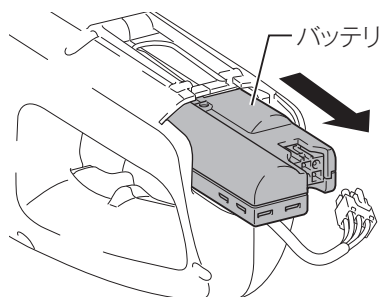
4. コネクタをはずします。
コネクタのツメが浮いてる状態で、バッテリーを本製品側へ押し込みます。



注

- 無理にコネクタを引っ張るとリード線が切れる恐れがあります。

5. バッテリーを引き抜きます。



注

- 取りはずしたリチウムイオンバッテリーは短絡（ショート）しないように、端子部にはビニールテープなどを巻いてください。

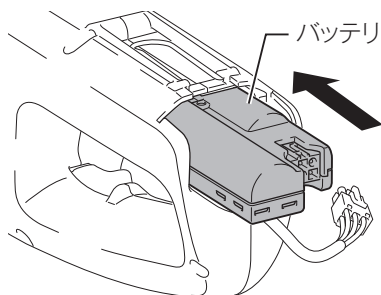
バッテリーの交換方法

バッテリーの取り付け方

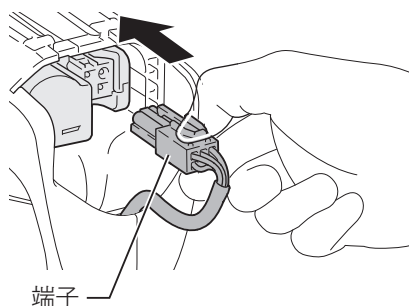
(充電器をはずした状態で作業してください。)

取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

1. バッテリーを本製品に差し込みます。

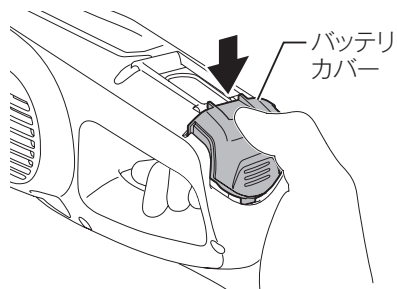
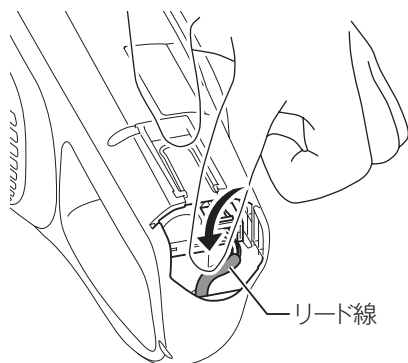


2. 端子を奥までしっかりとはめます。



バッテリーの交換方法

3. リード線を図のように収めて、バッテリーカバーを閉めます。



注

- ・ バッテリーの交換後は、バッテリーを充電してからご使用ください。

バッテリーの交換方法

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 吸い込みが弱くなってきたと感じたら使うのをやめて充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は気温 10℃～40℃で行うことをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）お使いにならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

注

- ・ 使用直後や直射日光のあたる所に長時間放置した本製品に、充電器の給電プラグを接続し充電されると、充電ランプが赤く点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、本製品の温度が下がると充電を開始します。

本製品を廃棄処分するときは

- ・ お使いの充電式クリーナは、リチウムイオンバッテリーを内蔵しています。廃棄処分をされる際は、必ず内蔵のバッテリーを取りはずしてください（43 ページの「バッテリーの取りはずし方」を参照）。

リチウムイオンバッテリーのリサイクルについて

- ・ 使用済みのリチウムイオンバッテリーは、リサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711（代表）

881G66J9

IWT